

制作

「ささやかな」展に出展した作品、陶芸クラブ「あさひ窯」にオープンするカフェギャラリーのテーブルを制作提案。

手で「モノをつくるコト」を目的に、複製はせずひとつひとつのモノに起こる違い、一つしかないものを大切にする。

尾張旭市にある陶芸クラブ「あさひ窯」に、今年4月頃を目標にオープンするカフェギャラリーを、現在オーナーと建築家と会員が、床タイルからすべて手づくりで1年程かけて店舗づくりをしている。そのことから、インテリア制作もひとつひとつを手で制作。

主に陶器を中心に、様々なジャンルの作家作品を展示、またカフェとして使用していく。テーブルがショーケースとなるようデザインし、中の間仕切り兼台は、陶芸クラブらしく陶磁器で制作。テーブルは見やすいよう天板の位置を少し高めに設定。鞆等を置く台や広めにとった天板が、ショーケースとしてもカフェテーブルとしても使用しやすくする。

謝辞

作品に関しましてご教授頂きました、准教授 金昌郁先生、制作にご協力いただきました、技手 井上久光氏にお礼申し上げます。

09

インテリアデザイン

Interior design

デザイン学科・助手

Department of Design・Research Associate

小池 絵里子 Eriko KOIKE



写真1:一輪挿し／「ささやかな」展／2013

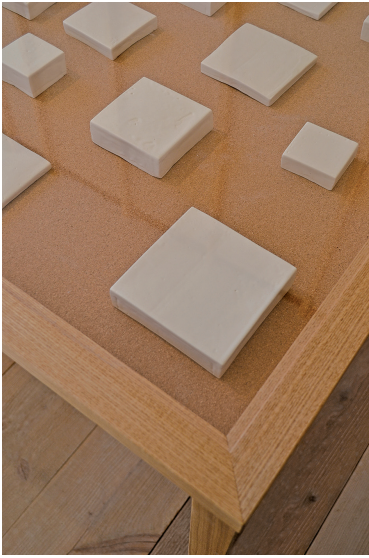


写真2



写真3



写真4



写真1

素材:磁器土/ブビンガ・メイプル・ウエンジ・ケヤキ型は使用せず、そのとき制作したときの表情がでる。

写真2

陶磁器の間仕切り兼展示台。ジュエリーなどの小物作品を展示、展示に合わせ配置を変える。また、間仕切りの種類は増作予定。

写真3・4

写真1のものを外し、高さのない作品を展示